

同時多発テロ

グランドゼロを軽く使うな

笹本和稔

米国同時多発テロから早や一年。当時中二だった方が、去年と今年の2回にわたり、某ミニコミ紙に投稿した文章をご紹介します。

へ去年…中二

同時多発テロ

九月十一日夜十時ごろ、ニューヨークの世界貿易センタービル北棟に飛行機が激突。飛行機はニューヨーク発フロリダ行きだったので、燃料をまんさいしていた。

その数十分後、別の飛行機が南棟に激突。さらに数時間後、はじめの北棟がほうかいした。やがて南棟もほうかいした。

事件のボスは、イスラムのビンラディンというアラブ人。

アメリカは、報復として空ばくをするらしい。作戦名は「偉大なるワシ」だという。

今日のニュースによると、日本にボスが逃げてきたらしい。

アメリカの空ばくが始まれば、アラブが報復に出る。

戦争はいやだけれど、湾がん戦争みたいになると、景気が良くなるという話もある。それって本当だろうか。



他の名前を使ってほしい。「NEVER FORGET (決して忘れない)」でいいじゃないか。

アメリカがテロに怒る気持ちも分かるけど、広島・長崎の人の気持ちも考えて名前をつけるべきではないか。

へ今年…中三

グランドゼロを軽く使うな

9・11から一年がたった。あのツインタワーの崩壊から一年ということだ。

ところで、あの現場はグランドゼロと呼ばれている。しかし待ってくれ、「グランドゼロ」とは、日本の広島・長崎の爆心地をさす言葉だ。

ただのテロの場所に、この名前が使われたくはない。たかだか30000人弱くらいの犠牲者でこの名前を使うのは、軽すぎはしないか。広島・長崎の犠牲者は、合計三十五万人なんだぞ。

あまり軽くその名前を使われたら、広島・長崎の悲劇が忘れ去られてしまうのではないか。



「長寿をめざす人々へ」

紀寿―百歳のお祝いに招かれて

去年、友人の喜寿の人から『おふくろが99歳だけど、祝いをした方がよいか、どうしよう』と相談された。私は『90歳を過ぎると、若い時の1年が10年分の体力減退に相当するから、是非行なった方が良い』とすすめた。今年百歳になり、祝いの名前がわからず、百貨店に尋ねた。上寿カミジュと言うのは知っていたが、今は一世紀を生きたから紀寿キジュと言うらしい。

早速準備にかかったが、私はそれほど小母さんとは親しくなく、招かれざる客であった。しかし、紀寿の祝いに参加出来るよう頼んだ。『君が来てくれるとお袋も喜ぶよ』と言われ、私も大いに協力することになった。

4月26日の大安に、お台場のホテルに25名
 嘆の涙で参加者を出迎えた。

軽妙な親戚の方の司会で始まり、10歳の曾孫娘の花束贈呈。参加者もCDアルバムと一緒に写っている感激。去年の白寿の祝いも同ホテルで行ったので、来年の百一歳の誕生日も是非当店にて、と支配人の挨拶があり、記念品授与と続いた。

皆さん知っていたがっている『どうしたら長生き出来るのか、その秘訣は？』との質問に、小母さんは『何でも食べることです』と言った。小母さんは50歳の頃、大学の前で食堂を営んでいた。カケうどんの下には、小父さんに内緒で玉子を入れ、気がついた学生さんは、小母さんを見るとウインクしていたそうです。縫い物をしてあげたり、人生相談も受けて、人気者でした。今やその学生さん方も60歳を過ぎ、社会に貢献している人達であります。

この人達の一人が『小母さんを驚かせようと突然行ったら、来るなら事前に連絡して。』

の招待客を組んだ。引き出物は、省エネのエコ商品『保温鍋』と、縁起の良い向島の菓子職人が作る本物そっくりの練りきり『3個の桃』にした。そして小母さんの生まれた百年前、明治42年4月20日の朝日新聞を取り寄せた。

一面は全て広告宣伝。その中に胃の薬と目薬、石鹸、漢方薬など、現在も有る会社が載っていた。三面には、徳川家光没後三百年の記事もあった。

小母さんの子供の頃からの写真を集めCDを作成し、当日パソコンで見られるようにした。若い頃、旅行先での露天風呂の入浴シーン、奴さんの踊る姿、結婚式、汐干狩り、13年前に旅立った小父さんとのツーショットの写真など、百年の思い出が詰め込まれた。

当日は前夜の大雨が嘘のように晴れ渡り、東京湾を一望出来るなど、小母さんの人柄が表われるような快晴になった。正午には懐かしい顔が現われ、小母さんは初めから感



お茶とお菓子を用意して、化粧する時間が欲しいと、怒られてしまったよ』と言っていた。凜とした心と信頼されている人柄とが相まって30名に増えた最後に、全員で記念写真を撮り、来年もより多くの元学生さんたちが出席することを約束して、皆さんで小母さんを家路へ見送りました。

小母さん、百歳のお誕生日、本当におめでとう。この会に私も参加出来ましたこと、ありがとうございます。

「百歳の価値」(その2)

2009年9月11日、世界最高齢だったアメリカの115歳の女の人が亡くなった。その日から、沖縄県の明治28年(1895年)5月10日生まれの知念カマさんが世界最高齢になった。

男の人の最高齢は、日本では京丹後市の明治30年(1897年)4月6日生まれ、木村次郎衛門さんになる。『一日三度の食事が一番楽しい』と、はつきりした声で話した。最高齢になったことは『うれしいやら、複雑な心境』と語った。

現在、長男の妻(80歳)、孫の妻(56歳)と3人暮らし。子供7人、孫15人、曾孫23人、玄孫8人がいる。

	90歳以上の方の人口			平成21年の推定
	平成18年の統計			
	男	女	合計	
90歳～94歳	22万人	66万人	88万人	110万人
95歳～99歳	4万人	19万人	23万人	30万人
100歳以上	0.4万人	2.5万人	2.9万人	4万人

〈百歳の祝いができる条件〉

- ・お祝いできることが考えられる人
- ・面倒をみる人がいること
- ・祝ってくれる発起人がいること
- ・ホテルや会場へ行けること
- ・トイレも2時間待てること
- ・参加者と会話ができること
- ・引き出物代は本人持ちで、お金もあること
- ・参加者がいること
- ・親族だけでなく、お金に絡まず心から祝ってくれる人の参加
- ・百歳までのその人の価値がわかる

※この条件で何人ぐらいの人ができるだろうか？

郵便局に38年間、定年まで勤務。テレビ番組をみることに、特に相撲と国会中継が好きで、新聞2紙を毎日1時間かけて読む。最近の出来事について『もうちょっと国民のためになるような政治を』と苦言を呈した。「世界最高齢を目指しますか」の問いに、『そんな希望はもっていない。神様のなさるまま』と話した。

毎日午前5時半に起床し、朝はヨーグルト、さつまいも、梅干し。夜は牛乳を飲む習慣。好き嫌いはなく、食べる量も決めている。『苦にするな、嵐のあとに日和あり』の言葉をモットーにしている。今年9月に国内男子最高齢になった時、『責任の重さを感じている。一日でも長く元気でいたい』、国会中継が好きなのは『時代についていけないようではだめだから』と語った。

男の人の世界最高齢は、英国人ヘンリー・アリガムさんで、1896年6月6日生まれ。孫5人、曾孫12人、玄孫

14人、来孫が1人。3月にフランスから勲章を受けた時、『これ以上戦争が起きないことを、そして世界が大きな一つの国になることを願っている』と、戦争の根絶を訴えた。

話は飛ぶが、徳川家康の参謀、天海上人の言葉。二代将軍・秀忠に対して『長命は、粗食、正直、日湯（毎日風呂に入ること）、陀羅尼（お経を読むこと）。ご下風（屁をする）ことをあそばさるべし』と。また短気、好色の家光に対しては『気は長く、務めはかたく、色薄く、食細くして、心広かれ』と説いている。

天海には97歳説から135歳説まである。秀忠、家光を引つ繰り返せば光秀になり、日光には明智平の名もついて、桔梗の紋もみられる。

私の考えでは、明智光秀とその子孫の二代にわたり、天海上人を演じたようにして、長生きしたようにみせたのではないかと思う。歴史のミステリーは分からない。

